

和歌山県立医科大学附属病院 形成外科

当科の特徴

当病院に形成外科が開設されて6年が経過し、今年度はじめて、当科で鍛錬した専攻医が専門医試験を受け、さらに女性の専攻医が誕生しました。特定機能病院として高度の専門性を必要とする疾患の治療と、和歌山県全域および泉南地域（大阪南部）の地域医療における拠点病院としての役割を担っております。

和歌山県内で唯一の形成外科基幹施設であるため、顔面骨折や切断指などの顔面や手の外傷、腫瘍や先天性疾患の外表異常を診療しており、幅広く多くの経験をすることができます（年間手術症例数：約800）。

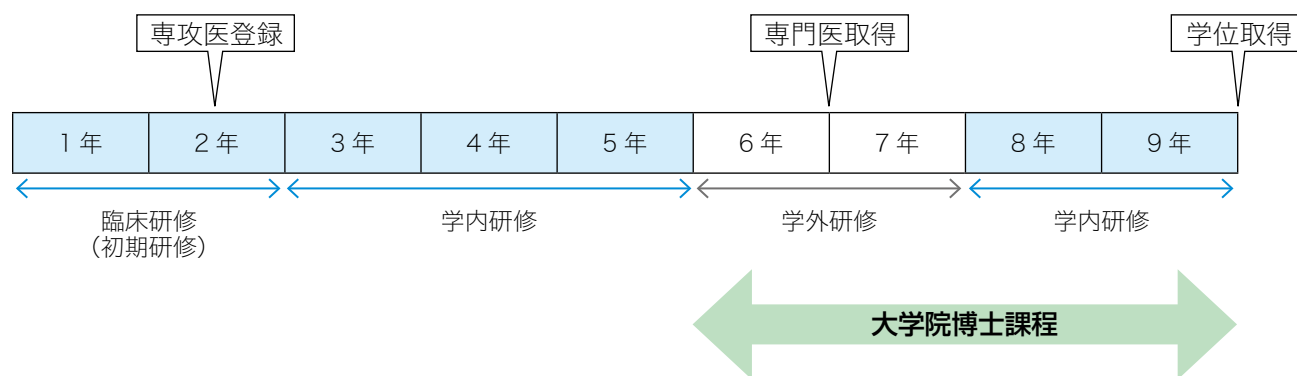
世界初の全身麻酔手術を成功させた和歌山出身である華岡青洲の思想に基づき、専門的知識や学術の教授・研究とともに、豊かな人間性と倫理感に富む資質の高い人材育成を目指しています。



ローテーション例

一般枠コース

※ □ は学内研修

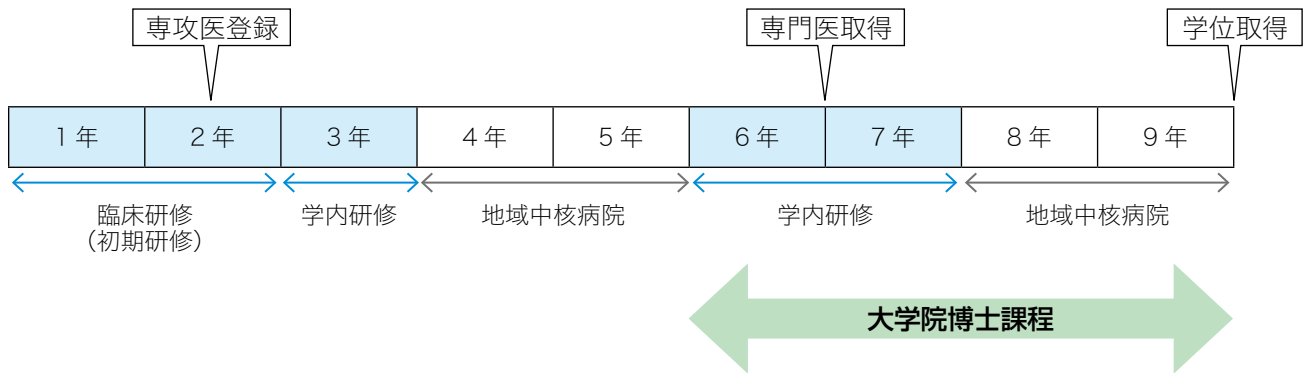


当科では、一般枠コース・県民医療枠コース区別せず、学内研修を基本に行います。

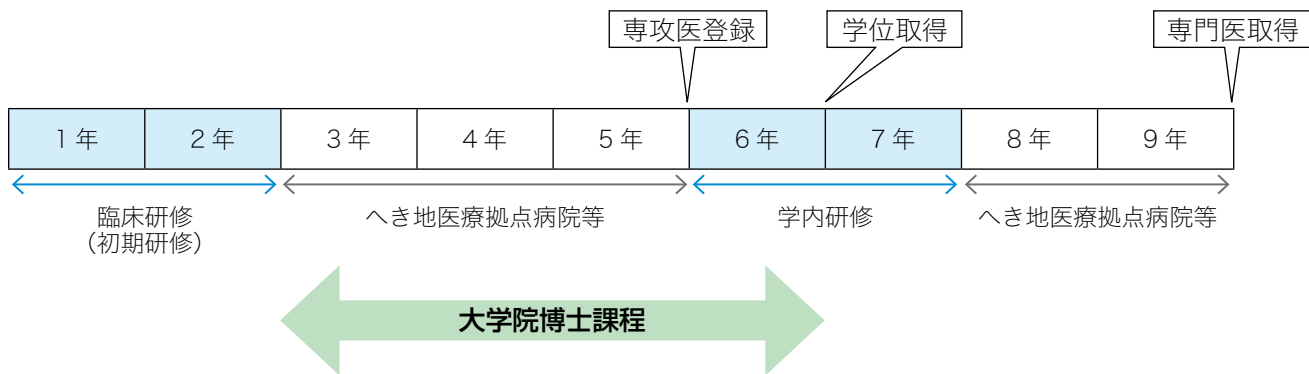
一般枠コースでは、県外施設での研修は可能です。

すべてのコースで、卒後、9年間で専門医と学位習得を目指します。

ローテーション例 **県民医療枠コース** ※ □ は学内研修



ローテーション例 **地域医療枠コース** ※ □ は学内研修



※地域医療枠では連携施設の都合上、専門医取得は義務年限終了後となります。

研修目標

以下に年次毎の研修内容・修得目標を示します。

●専門研修 1 年目

一般的な医師としての基本的診療能力、および形成外科の基本的知識と基本的技能の修得を目標とします。さらに、学会・研究会への参加および e-learning や学会が作成しているビデオライブラリーなどを通して専門知識・技能の修得を図ります。

●専門研修 2 年目

1) 外傷 2) 先天異常 3) 腫瘍 4) 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド 5) 難治性潰瘍 6) 炎症・変性疾患などについて基本的な手術手技を習得します。

●専門研修 3 年目

マイクロサージャリーやクラニオフェイシャルサージャリーなど、より高度な技術を要する手術手技を習得します。また、学会発表や論文作成を行うための基本的知識を身につけます。

●専門研修 4 年目

自分自身が主体となって治療を進めていけるように、再建外科医として他科医師と協力の上、治療する能力を身につけ、言語・音声・運動能力などのリハビリテーションを他の医療従事者と協力の上、指示・実践する能力を習得します。また、形成外科を中心とした地域医療に貢献するためには、総合的な治療マネジメント能力が要求されるため、臨床能力の向上を目的とした岸和田徳州会病院における外来診療や地域連携とのコミュニケーションも含めた勉強会や講演会に積極的に参加します。

教授からのメッセージ



朝村 真一 教授

形成外科は外科系診療科で、診療内容のうち手術の割合が断トツで高く、時代のニーズに合わせて進歩している診療科です。海外では形成外科医のこと

を「Surgeon's surgeon（外科医の中の外科医）」と呼んでおります。

数年間で多くの知識と技能を得ることができます。手術における基本手技や考え方を学びたい先生は、是非、形成外科を専攻してください。

当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	日本形成外科専門医	日本小児形成外科 分野指導医	日本手外科専門医	日本頭蓋顎顔面外科専門医
和歌山県立医科大学附属病院	4名	2名	2名	1名
研修施設	再建・マイクロサー ジャーリー分野指導医	皮膚腫瘍外科 分野指導医	日本創傷外科専門医	
和歌山県立医科大学附属病院	2名	1名	1名	